

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県ライトセンター		
所在地	神奈川県横浜市旭区二俣川1-80-2		
サイトURL	http://www.kanagawalc.org/		
根拠条例	神奈川県ライトセンター条例		
設置目的(設置時期)	身体障害者法第34条の規定により、無料で点字刊行物等を視覚障害者の利用に供し、及び視覚障害者に対して各種指導、訓練、スポーツ活動等の振興等を行い、並びに視覚障害者に対する社会奉仕活動を行おうとする者に対してその活動のための便宜を供与し、もって視覚障害者の生活の充実及び文化の向上並びに視覚障害者に対する社会奉仕活動の振興を図る。(昭和49年8月)		
指定管理者名	日本赤十字社		
指定期間	H28.4.1~R3.3.31 (2016年)(2021年)	施設所管課 (事務所)	障害福祉課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はB評価、利用者の満足度はS評価、収支状況はB評価となり、3項目評価はA評価とした。 また、事故・不祥事等も発生していないことから、総合的に見て良好な施設運営と言える。 利用状況については、減少傾向が続きB評価となったものの、減少幅は小さくなっている。減少傾向はインターネット上のサピエ図書館の普及が大きな要因と考えられる。 満足度調査では、95%以上が満足と高評価を得ており、S評価としたが、更なる満足度向上に期待したい。 収支状況は、収支比率が99.97%となりB評価となったものの、マイナス額は僅かである。 引き続き、県内の視覚障がい者支援の拠点として、アウトリーチ事業や他施設等に対する専門的なノウハウの普及にも積極的に取り組み、視覚障がい者の福祉向上に努めてもらいたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 視覚障がい者及びそれを支援するボランティアへの各種支援事業や施設維持管理等を着実に実施している。</p> <p>◆利用状況 昨年度比で施設利用者数は微減となっているが、減少傾向は緩やかになっており、着実に事業を実施している。利用者数の減少は、デジ図書の貸出数減少が大きな要因となっており、デジ図書利用者の一部がインターネット上の「サピエ図書館」に切り替えていることが主な理由であると考えられる。利用者数は、対前年度比99.4%であり、B評価とした。眼科医療機関や市町村障がい福祉担当課等との連携を進める等、利用者増の取組みを進めており、結果に期待したい。なお、ライトセンターで製作した図書はサピエに提供しており、その利用件数は増加している。</p> <p>◆利用者の満足度 総合満足度の評価において、「非常に満足」「満足」と回答とした割合が95.6%と高評価を得ておりS評価としたが、引き続き満足度向上に努めてもらいたい。図書の貸出は、95%以上が「非常に満足」「満足」、図書館職員の対応も、96%以上が「非常に満足」「満足」との回答で、継続的に高評価を得ている。回答数は昨年比で4割以上増加しているが、多くの意見を取り入れるため、回答数増加に向け更なる工夫を期待したい。</p> <p>◆収支状況 提案に基づき計画を実施している。収入合計の支出合計に対する割合は99.97%であり、B評価としたが、マイナス額は僅かである。節減の取組みに期待したい。</p> <p>◆苦情・要望等 全体として要望等を積極的に把握し、サービス向上を図っている。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、運営に起因する事故等の発生はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘事項等はない。</p>	
3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
視覚障がい者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供事業を実施。	<p>図書については、より利用者ニーズの高いデジタル図書や、拡大図書の充実を図り、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>(平成30年度実績)</p> <p><製作> 点字図書470タイトル、2,018巻 デジタル図書319タイトル、640巻 拡大図書33タイトル、105巻</p> <p><貸出> 点字図書1,582タイトル、6,703巻 デジタル図書37,475タイトル、37,792巻 テープ図書437タイトル、3,749巻</p>	
視覚障がい者の生活に必要なスキルを身につけるための指導・訓練事業を実施。	<p>歩行訓練では、歩行訓練士による外出トレーニングを実施している。また、料理教室等の日常生活指導や視覚障がい乳幼児、保護者の指導を実施している。</p> <p>(平成30年度実績)</p> <p><相談・訓練 2,496件> 歩行：相談550件、訓練256件 日常生活：相談380件、指導50件 録音図書相談173件 点字：相談78件、訓練211件 コミュニケーション訓練169件 他</p>	
視覚障がい者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施。	<p>視覚障がい者を支援し、積極的に活動できるボランティアの育成のため、必須である基礎ボランティア養成講座を受講後には、各ボランティアの目的に合わせて、点訳・誘導・スポーツ介助等の体系化された研修を実施している。</p> <p>(平成30年度実績)</p> <p>ボランティア養成講座150回、276名 ボランティア研修34回、1,085名 ボランティア団体指導育成44回</p>	

<p>視覚障がい者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施。</p>	<p>水泳やフラインドサッカー等の各種スポーツ教室やスポーツ競技会等を開催している。 また、地域で行われるスポーツ大会への協力や地域のスポーツセンターが視覚障がい者を受け入れるための環境整備に取り組んでいる。 (平成30年度実績) 体育館でのスポーツ教室33回 プールでのスポーツ教室73回 大会への協力3大会 地域スポーツ振興5回</p>	
<p>視覚障がい者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施。</p>	<p>小中学校等の生徒や教員を対象に福祉教室等の開催を実施。 また、施設見学を積極的に受け入れ、視覚障がいに対する理解促進に取り組んでいる。 (平成30年度実績) 福祉教室等3,209名 施設見学773名</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
該当なし	

5. 利用状況

評価	<p>《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。</p>
B	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	88,131	86,907	86,372
対前年度比		98.6%	99.4%
目標値	91,931	88,131	86,907
目標達成率	95.9%	98.6%	99.4%

目標値の設定根拠： 前年度実績

利用者数の算出方法（対象）： 体育施設利用者等来所者数と図書貸出数の合計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	※評価の目安 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S:90%以上 A:70%以上~90%未満 B:50%以上~70%未満 C:50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年に1回1月~3月の間	95%以上が満足と回答しており、高い評価が続く中で更に改善が見られている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容	ライトセンター施設全体についての満足度はいかがですか。		
実施した調査の配布方法	ライトセンターだより掲載、ホームページ掲載、調査票設置、聞き取り、郵便・電話・メール・ファクシミリでの受付	回収数/配布数	回収数237 (配布数不明)
配布(サンプル)対象	ライトセンターを利用する視覚障がい者・他障がい者・ボランティア等		

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	51	143	9	0	203	理由は不明
回答率	25.1%	70.4%	4.4%	0.0%		
前年度の回答数	37	103	7	0	147	
前年度回答率	25.2%	70.1%	4.8%	0.0%		
回答率の対前年度比	99.8%	100.5%	93.1%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	※評価の目安 収支差額の当初予算額:0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良):105%以上 A(良好):100%~105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である):85%~100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている):85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳		支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	289,990	0	0	0	289,990	289,990	0	
	決算	289,990	0	0	0	289,990	286,902	3,088	101.08%
前年度	当初予算	289,990	0	0	0	289,990	289,990	0	
	決算	289,990	0	0	0	289,990	276,883	13,107	104.73%
2018年度	当初予算	289,990	0	0	0	289,990	289,990	0	
	決算	289,990	0	0	0	289,990	290,084	-94	99.97%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
2018年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備 考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備			
	件		
職員対応			
	件		
事業内容			
	件		
その他			
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。